

5月20日～ 福井合宿（取立山・火燈山・中池見湿原） 山下 隆

山名	取立山	山行名	福井合宿登山
ルート	いこいの森登山口駐車場—大滝—取立山頂上—登山口駐車場（時計回り）		
山行日	2023.5.20	天候	曇り一時小雨
参加者	リーダー： 山下隆 サブリーダー：西川洋 男性： 小川・竹原・宮内 女性：伊藤多恵子・染矢・竹原絹枝・ 合計： 8名		

ルート概略図 	コースタイム					
	地名		時：分	地名		時：分
	松井山手	集		取立山	着	13:20
		発	6:25		発	13:27
	いこいの森 駐車場	着	9:54	いこいの森 駐車場	着	14:50
		発	10:13		発	15:00
	大滝	着	10:35		着	
		発	10:45		発	
こつぶり山	着	12:10	武生 IC	着	16:10	
	発	12:42		発		
水芭蕉群生地	着			着		
	発			発		

薄曇りの京田辺を早朝に出発し、好天になるという天気予報を期待し、八幡東から高速に乗る。4hr の計画だったが 3:30 で登山口に到着。駐車場手前の憩いの森は3年間のコロナ休業のためか人気は無く、ロッジ等のたたずまいは寂しい。その先の駐車場には土曜日でもあり、我らの到着が10時と登山には遅い時間もあって40台以上の先客にビックリ。ネットでは5月連休時には水芭蕉は満開との報告があったので、残り水芭蕉を心配したが、先客の多さからみて、水芭蕉はまだ残っていると予想されホットする。判り安い駐車場登山口から時計回りに登山開始。道々の足元には明日葉(アシガ)とうつぎの花に囲まれ、頭上には新緑が覆いかぶさる。20分強登ると目玉の大滝に着く。大きくもない滝つぼはやや混雑する。冷気を浴びてから右手にあるやや濡れた岩場を注意深く登る。ストックはしまった方が安全だ。1:30 近く登りこつぶり山 1264mに着き昼食休憩。ショウジョウバカマの花時は終わっていたが、唯一残っていた一輪に感激する。この山特産と思われる赤紫のツツジには皆さん癒された。少し下ったところに水芭蕉の群生地があり、保護用のロープで囲ってある。50m 四方の広さで尾瀬とはいかない。霧も濃くなり、目を凝らして眺める。取立山 1307m に着く。本来ならば残雪の白山連邦が360度見渡せるが霧で展望なしで残念！ 後は小雨の中を1:20 下る。膝に不安を持つ仲間もいたが無事にのりきれた。こつぶり山からずっと抜きつ抜かれした3才の男の子(ゆきほちゃん) つれのおかーさんとは仲良くなり、小雨も忘れての楽しい道々でした。この子はどんな大人になるのか楽しみだ。

実家への帰り途中で予約したハマチや食材を仕入れて、昨年の合宿同様にNさんの包丁さばきと女性連中の活躍やOさん自信作の料理、差し入れ焼酎等で豪華な食卓となり、大いに楽しめました。

○ ヒヤリハット;ありません。

山名	火燈山（ひともしやま）	山行名	福井合宿登山
ルート	白山神社—大内峠—（火燈古道）—739—火燈山 803m ピストン		
山行日	2023, 5, 21	天候	晴
参加者	リーダー：小川 サブリーダー：山下 男性：竹原・西川・宮内 女性：伊藤多恵子・染矢・竹原絹枝 合計 8 人		

ルート概略図	コースタイム					
	地名		時：分	地名		
富士写ヶ岳 942m ↑ 白山神社 248m ↓ (鉄塔) ↓ ピーク 739 ↓ 火燈山 803m ↑ 小倉谷山 910m	実家	集		白山	着	15:50
		発	7:05		発	16:00
	白山神社 (総本山)	着	9:06	越前海岸道		
		発	9:45			
	白山神社	着	10:55	実家	着	18:00 頃
		発	11:10		発	
	ピーク 739	着	12:58		着	
		発			発	
	火燈山頂上	着	13:20		着	
		発	14:00		発	

実家を予定よりは30分早く出発。福井県や石川県には白山神社はあまたとあり、ナビは当然ながら「白山神社の総本山」に導いてくれた。立派過ぎる駐車場から拝殿の神社に向かっている途中でなにかおかしい？結論は白山違いだった。小松市を通過し、かなり先まで来てしまった。土地勘のない場所では要注意だ。

予定より 2hr 遅れで目指す火燈山山麓の白山神社に着く。山麓によく見かける小さな神社でナビでは対応しないのは無理もない。さて、予定より大幅に遅れたので、コース変更等が必要となる。春の日は長いし、帰路のスケジュールは余裕の設定だったので対応はしやすい。火燈山 803m から 35 分先の白山展望のよい小倉谷山 910m で折り返す計画だったが火燈山で折り返すことにした。天気はよいので展望のいい頂上で遅い昼食をゆっくり頂く。白山展望は丁度小倉谷山の方で望めなかった。火燈山頂上から小倉谷に行くには一度大きく下ってから急登が待っていて、その辛さも想定されたので、ここでの折り返しに納得した。

この山の特徴はシャクナゲと雪の白山展望で、残りシャクナゲに期待したが今年はいずれも春が早かったので花はすっかり終わっていた。5月連休前に来れば満開のシャクナゲが期待できよう。登りでは5分割の手作りの標識があり励みになる。登り後半は急登部分とフラット部分が交互に続き、最後は急登のみで標高差 550m だが予想よりきつかった。

登山口までの往きでは麦畑と水田のモザイク模様の道の中を武生富士の「日野山」や残雪の「白山」を眺めながらのドライブを、帰路では越前海岸通りのドライブを楽しめた。

今晚もNさんのハマチの刺身が待っていてくれて、豪華夕食は楽しく、2日間の疲れは吹き飛んだ。

ヒヤリハット； ありません

山名	中池見湿原		山行名	福井合宿登山				
ルート	中池見湿原藤ヶ丘駐車場⇄湿原ビジターセンター⇄天筒山（テツツヤマ展望台）							
山行日	2023. 5. 22		天候	晴				
参加者	リーダー： 染矢 男性： 小川・竹原・西川・宮内 女性： 伊藤多恵子・竹原		サブリーダー： 山下 合計： 8 名					
ルート概略図			コースタイム					
			地名		時：分	地名		時：分
			実家	集		駐車場	着	14:00
				発	8:30		発	14:10
			北前船の館	着	9:00	(琵琶湖湖西道路)	着	
				発	10:30		発	
			藤が丘駐車場	着	11:40	京田辺	着	17頃
				発			発	
ビジターセンター	着	昼食休憩		着				
	発		発					
天筒山	着	13:10		着				
	発	13:28		発				
山行報告								
<p>合宿登山の最終日で骨休めの日。山登りは止めで文化の日。越前の河野海岸にある「北前船の館」に寄る。現在の「損保ジャパン」の御先祖（右近家）が創業した海運業の遺跡で、田中ガイドさんの名調子の説明を聞くうちにウトウトも出る。</p> <p>昼前に敦賀市郊外の8号線の横に広がる中池見湿原に寄る。ここは 昨年9月に京都労山で主催した「自然観察会」で訪ねたところで福井合宿の帰りにと計画した。駐車場を探すのに苦労してようやく着く。残念ながら月曜日は休園、電気柵で入れない。ビジターセンターまでの道はアザミの花が最盛期で里の雰囲気を楽しむ。センター周辺で手作り弁当を頂き標高 171m の天筒山（テツツヤマ）に登る。頂上には直径数メートル・高さ 10m 位の展望台が忽然と出現し、湿原と反対側には敦賀港と金崎宮が真下にあるように見える。敦賀湾の先には敦賀半島が霞んでいて。昨年の福井合宿時に登った サザエ岳が懐かしい。</p> <p>敦賀市を通る機会があったら、是非 この中池見湿原に寄ってみて下さい。湿原の中、池や木道をゆるりと散歩するときと癒されます。平坦でその上無料です。月曜日の休園にはきをつけて！</p>								
ヒヤリハット； ありません								

感想文

伊藤多恵子

福井合宿も3回目ともなると、第二の故郷に帰って来たような懐かしさがある。家が海に張り出した絶好のロケーション。家の中を通り抜ける海風がさわやかで心地よい。食事は、Nさんが包丁を振ったブリの刺身にアラ炊き、塩焼きに煮付けと大ごちそう。併せて新鮮なイカの刺身も。加えて、Oさん手作りの総菜も人気の二品。Oさんの畑のえんどう豆で豆ごはんも頂きました。

福井の山は、どの山に来てても植生が豊かで心惹かれる。一日目の取立山では、大滝に続く岩登りが楽しかったし、少し脇道に入ると水芭蕉の群生が見られた。霧の中に点在する白い花（本当は苞）が幻想的。大滝で出会った子ども連れの若いお母さんとはその後、抜いたり抜かれたりしながら同行することになる。3歳のユキホは元気いっぱいの子。子どもを背負えるザックを担いだママは、強力のようにたくましい。子どもを背負うと20キロになるそうだ。ユキホ君と楽しくおしゃべりしながら下る。その後、彼の発する「コケコッコ」がなぜか我がグループの合言葉のようになった。最後、下りの途中で小雨に会うが、本降りにはならず助かった。

二日目の火燈山（ヒトモシヤマ）は名前が素敵なこともあり、忘れ難い。思いの外急登が多く、合間にある平坦な道が息抜きとなる。頂上近くには立派なブナの林も。急登をモノともしない、明るく元気な歌声が樹間に響き渡る（もちろん、メインは京田辺の歌姫）。実は、急登にあえいでいたMさんにはその元気さが耐えがたかったそうで、思わず「静かにして下さい・・・」と。

三日目は、まず「北前船の館」見学。語り部さんの熱の入った説明は聞きものでした。その後、ラムサール条約に登録されている中池見湿地を散策し、近く为天筒山を一登り。早目の帰宅となりました。

いつもご実家を提供して頂くだけでなく、綿密な計画で福井の魅力的な山を紹介して下さいるYさんにただただ感謝の気持ちで一杯です。仲間の皆さんにも、運転、ナビ、会計、料理、片付け、掃除とお世話になりました。ありがとうございました。

一口感想文

小川弘二

福井合宿は前々から参加したかったが家の事情で参加できず、今回が初めての参加となった。合宿所はYさんの奥様のご実家とのことであるが越前海岸の宿という湾の中央にあり、一軒だけ海に突き出た岩の上に建てられた素晴らしい景観で窓を開けるとカモメが飛び交い漁船が行きかい日常の生活からかけ離れたシチュエーションであった。

1カ月前から左膝の関節が痛く整形外科にて治療（注射・張り薬・飲み薬・リハビリ）を受けているが少しは良くなってきたが完治とまでは行かず、参加するのをどうしようかと迷ったが、それ程キツイ行程ではなかったので足を庇いながら何とか登れた。

又、夕食はNさんの包丁さばきの見事さと新鮮な魚介類で楽しい一時を過ごさせて頂きました。同行の皆様有難うございました。

取立山



火燈山



天筒山

